

令和2年度版 改善計画

学校名：山梨県立ふじざくら支援学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議資料の事前配付、会議終了時間の設定により会議の効率化が図られている。	小規模な会議においても効率的な運営を実施。	① 小規模な会議における資料の事前配付、会議の時間設定。 ② 更なる会議の統合、回数縮減。	
2	学校行事の負担軽減	学部、分掌において行事の負担削減、運用方法の検討を行ったが、削減には至っていない。	分掌連携による更なる効率的な学校行事の実施。	① 分掌間の連携の定着と効率的な運営。 ② 連携による課題検証とその解決。	
3	校内組織の見直し	学部、分掌等における職員の業務の均等化が課題。	先を見越しての校内人事。リーダーとなる職員の育成。	① チームとして効果的な学部、分掌業務の実施。 ② チームとしての学部、分掌業務の引き継ぎ。	
4	業務の効率化	グループウェア等の活用により情報が共有されている。教材研究は個人に任されることが多い。	学部、グループ等での教材、教具の共有。	① 校内サーバー等を活用した教材、教具の共有化。 ② 情報の共有化に向けての課題検証とその解決。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	いきいき人材活用事業・外部講師の授業・地域交流・ボランティア等での活用を行っている。	授業及び行事における更なる効果的な人材活用。	① より広い分野での地域の人材発掘。 ② 開かれた学校に向けた地域交流のあり方の検討。	
7	(学校独自の項目) 個人研修日の完全実施	週に一回の個人研修日を設定しているが、小規模の会議等が入り、完全に確保できない。	個人研修日を完全実施し、時間外勤務を削減。	① 小規模な会議のスケジュール調整。効率的に業務を行うことで時間外勤務を極力減らす。 ② 個人研修日の実施状況を踏まえた業務改善。	
8	(学校独自の項目) 働きやすい職場環境づくり	会議の多さ等に多忙感を感じる職員が多い。	グループ内での適切な業務分担。互いに支え合う職場環境づくり。	① コミュニケーションを大切にした風通しのよい職場の雰囲気づくり。 ② 学校評価等の結果を踏まえた課題の検討とその解決。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。